

## 富田五城

えのきづじょう

### 【榎津城】※よのきづ とも読む

富田町榎津字郷中。長田（武田）兵庫右衛門という人が居住していたと伝えられている。

えまつじょう

### 【江松城】

場所は二説あり、随縁寺の西、富田町江松字宮屋敷（現・江松五丁目）または、富田町江松字城屋敷（現・江松四丁目）。土方治兵衛という人が居住していたと伝えられている。

すけみつじょう

### 【助光城】

助光一丁目土之宮神明社あたり。もと竹藪に古碑があった。織田信長の家臣・福住（福留）右近（左近）将監という人が居住していたと伝えられている。

とだじょう

### 【戸田城】

戸田字蔵屋敷（現・戸田一丁目）。平季政が築いたといわれる。城跡は現在某氏私邸ともいわれる。

まえだじょう

### 【前田城】

前田西町一丁目。戦国時代のもの。前田氏発祥の地。城跡は現在前田速念寺。明治大正のころまで、城の遺構を示す榎の木があった。

参考文献：『中川区史』中川区制施行 50 周年記念事業実行委員会 1987、『中川区の歴史』山田寂雀／著 愛知県郷土資料刊行会 1982、『名古屋市 中川区郷土誌』名古屋市 中川区教育振興会／編 名古屋市 中川区教育振興会 1970、『愛知の城』山田柁之／著 山田柁之 1993